

慶應義塾のこの1年

塾員の皆さまにもお送りしている「社中特別号」にあたり、この1年間にあった主な義塾のニュースをまとめました。各ニュースの詳細やその他の最新のニュースは、義塾Webサイト (<https://www.keio.ac.jp/>) で確認できますのでご参照ください。

新たに2つの国際学生寮がオープン

元住吉国際学生寮と綱島 SST 国際学生寮の2つの新しい寮が3月にオープンしました。いずれの寮でも、留学生の生活サポートを行う学部生や大学院生の RA (Resident Assistant) がおり、日本人学生と留学生との

交流を促します。今後も、年々増加している世界各国からの留学生をスムーズに受け入れ、さらなるグローバル化を推進するべく、国際学生寮を計画的に整備、拡充していく予定です。



元住吉国際学生寮



綱島 SST 国際学生寮

慶應義塾大学病院 1号館 (新病院棟) の竣工

医学部開設 100 年を記念して建設が進められていた慶應義塾大学病院 1号館の竣工式が4月21日に行われ、5月7日に開院しました。この新病院棟は地下2階、地上11階で、病院機能の大部分が旧病院棟から移転されました。院内は森をイメージしたデザインで、安らぎや落ち着きを感じられる空間となっています。



東京六大学野球リーグ戦で2季連続優勝

体育会野球部は、東京六大学野球2018春季リーグ戦で2017年秋に続き2季連続36回目の優勝を果たしました。明治神宮外苑・絵画館前から三田キャンパスまでのパレードと三田山上での優勝祝賀会が行われ、パレードには約1000人、優勝祝賀会には約1500人が参加し、



27年ぶりとなる連覇の喜びを分かち合いました。秋季リーグでは惜しくも優勝を逃し、3季連続優勝とはなりませんでしたが、神宮球場には塾生、塾員をはじめ多くの観客が集まりました。



「慶應看護100年記念式典」の開催

5月12日（土）信濃町キャンパスにおいて、慶應看護100年記念式典・祝賀会、ならびにホームカミング企画（大同窓会）が開催されました。慶應義塾の看護教育は、1918年に大学部医学科附属看護婦養成所が設立されたことに始まり、2018年で100年を迎えました。当日は約350名の来賓・招待者、塾生（在学生）、塾員（卒業生）、教職員等が出席し、慶應の看護教育100年を祝いました。



2017年公認会計士試験結果 大学別合格者数43年連続第1位

2017年の公認会計士試験の合格者1231名が発表され、慶應義塾大学出身者の合格者数は157名（公認会計士三田会調べ）と、2016年に引き続いて大学別合格者数で第1位となりました。1975年から続いてきた大学別合格者数首位の記録をさらに伸ばし、43年連続となりました。義塾では1980年に公認会計士や税理士の資格取得を目指す学生に向けて、商学部内に会計研究室を設置しました。専任教員のほか公認会計士、他大学教員などを講師に迎え、基礎学力を養うための問題配布と添削を実施するなど、学部外の塾生へも広く門戸を開いたサポートを行っています。

慶應義塾高校野球部、春のセンバツ、夏の甲子園出場

慶應義塾高等学校野球部が、第90回記念選抜高等学校野球大会（春の甲子園）と第100回全国高等学校野球選手権記念大会全国大会（夏の甲子園）に出場しました。春の選抜出場は2009年以来9年ぶり9回目、夏の

甲子園出場は、2008年以来10年ぶり18回目の出場でした。甲子園球場には、高等学校の生徒、教諭に加え、大学生、一貫教育校生、保護者、全国各地の塾員が集い、大応援団がアルプス席を埋め尽くしました。



IBM Q Network Hub @ Keio Universityを開設

理工学部の矢上キャンパス内に、最先端量子コンピューター研究拠点としてIBM Q Network Hubを開設しました。IBM Qは、IBM（米国）で開発されている最先端の汎用量子コンピューターで、そのIBM Qのクラウド利用を可能とするアジア唯一のハブとなります。慶應義塾大学では、企業や他大学・公的研究機関の研究者と協力しながら、量子コンピューター用のアルゴリズムとソフトウェアの開発を進めていきます。



薬学部・薬学研究科 開設10周年記念式典

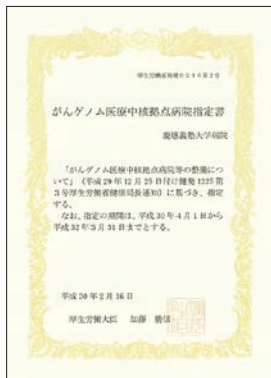
6月16日（土）、芝共立キャンパス記念講堂にて、慶應義塾大学薬学部・大学院薬学研究科開設10周年記念式典が開催されました。薬学部・薬学研究科は、慶應義塾と共立薬科大学との法人合併に伴い、2008年4月に開設されました。当日は約250名の来賓・招待者、塾生（在学学生）、塾員（卒業生）、教職員等が出席し、薬学部・薬学研究科開設10周年を祝いました。



金澤秀子薬学部長

慶應義塾大学病院が「がんゲノム医療中核拠点病院」に指定される

慶應義塾大学病院は、2018年2月16日付で、厚生労働省により、がんゲノム医療を牽引する高度な機能を有する医療機関として「がんゲノム医療中核拠点病院」に指定されました（指定期間：2018年4月1日～2020年3月31日）。今後、全てのがん患者さんが医学的に意義のある遺伝子パネル検査に基づくがんゲノム医療を受けられる体制を推進し、全国に展開する連携病院とともに、最適な個別化医療を提供していきます。



日吉記念館建て替え工事地鎮祭

日吉記念館建て替え工事の地鎮祭が、7月4日(水)、日吉キャンパスの建築予定地にて行われました。建て替え後の施設は、地上5階、地下1階建てとなり、以前は6500人だった収容人員が約1万人と大幅に増え、アリーナ面積も拡大し体育施設としての充実も図られます。竣工は2020年3月の予定で、東京2020オリンピック・パラリンピックで英国チームの事前キャンプにも利用される予定です。



リチャード・L・アーミテージ氏、ティム・ブラウン氏に対する名誉博士称号授与

6月8日(金)と11月1日(木)にそれぞれ、米国で国務副長官を務めたリチャード・L・アーミテージ氏と、IDEO社CEOのティム・ブラウン氏に対する慶應義塾大学名誉博士称号授与式が行われました。アーミテー

ジ氏は国際関係の安定に多大な貢献を果たしました。また、デザイナーであるブラウン氏はデザイン思考(design thinking)の伝道師としても知られています。



リチャード・L・アーミテージ氏



ティム・ブラウン氏(右から2人目)